

講義コード	11C3115201	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	林 康史	開講期	第1期
科目名	金融論基礎					林 康史		第1期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	<p>金融を学ぶには、実際の市場を理解することも非常に大事である。また、昨今、仮想通貨や電子マネーについての議論も盛んに行われているが、金融論では、学ばなければならないことがたくさんあり、貨幣とは何なのかを熟考する時間もほとんどない。</p> <p>金融論を今後学ぶにあたって、さまざまな角度から、貨幣・市場を考える機会とするための授業を目指す。貨幣・市場について、ブラジル（アマゾン）、ミクロネシア（ヤップ州）、パラオ、カンボジア、奄美大島、等々、現地調査を踏まえて、考えたことを伝える。可能な限り、学外での見学等も盛り込みたい。</p>								
到達目標	<p>貨幣にもさまざまな性格や機能があり、仮想通貨の問題点、等々を理解し、説明できることを目指す。少なくとも、さまざまな市場をみて、その構造を把握する力を養成し、さまざまな角度から、経済事象を見る思考を身につける。</p>								
授業外学修内容・授業外学修時間数	<p>授業外学修時間数は、60時間以上。授業外学修は資料の予習以外は、主として復習に充当されたい。復習以外に、参考文献を読み、それらの要約や感想文を提出してもらう予定（詳細は講義中に指示する）。</p>								
授業計画	<p>【第1回】 ガイダンス～マネーとは何か、市場の機能 【第2回】 日本銀行貨幣博物館見学（予定） I. 貨幣・通貨 無貨幣の世界を考える 【第3回】 チェ・ゲバラの貨幣廃止論、カンボジアのポルポト政権による貨幣の禁止 【第4回】 幕末薩摩藩による奄美大島等の貨幣廃止 特別目的の貨幣とは 【第5回】 ヤップ島の石貨 【第6回】 パラオのウドウド 法定通貨以外の私的貨幣 【第7回】 戦前の大東島の金券、西表炭鉱の炭坑切符、コスタリカのコーヒートークン 【第8回】 各国の地域通貨（エルサルバドル、エクアドルほか） II. 市場 さまざまな市場 【第9回】 アマゾンのインディオの無言交換、貨幣の誕生 【第10回】 大田市場、または、築地市場 見学（予定） 【第11回】 東京証券取引所見学（予定） 【第12回】 東京商品取引所見学（予定） 【第13回】 東京外国為替市場（外国為替ブローカー） 見学（予定） 【第14回】 予備 【第15回】 予備</p> <p>※講義の順番は、見学先等々と打ち合わせながら行うため、変更されうる。また、予備は、和銅遺跡（埼玉県）見学等を考えているが、受講者数等により、実施できない可能性もある。</p>								
成績評価の方法	<p>期末試験に、レポート、授業への取り組み姿勢等を加え、総合的に評価（予定）。小テストを行う場合もある。</p>								
フィールドバックの内容									
教科書									
指定図書	<p>『マネーの進化史（ハヤカワ・ノンフィクション文庫）』 ニーアル・ファーガソン（早川書房）2015年、『貨幣と通貨の法文化』 林康史編（国際書院）2016年、『欲望と幻想の市場～伝説の投機王リバモア』 エドウィン・ルフェーブル著、林康史（訳）（東洋経済新報社）1999年</p>								
参考書									
教員からのお知らせ	<p>可能な限り、フィールドを紹介し、歩きたい。</p>								
オフィスアワー	<p>本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。</p>								
その他									